

Japan Happy Grooming

一般社団法人ジャパンハッピーグルーミング協会

コンテスト ルールブック

Contests Rule Book



TABLE OF CONTENTS

ルール目次

基本共通ルール	03
クイック部門	04
サロンスタイル部門	07
ハッピーグルーミング部門	10
ダブルス部門	13
ウィッグ部門	16
ジャパンオープンスタイル部門	19

基本共通ルール

※ウィッグ部門除く

rule

01 グルーミングの完成度とデザイン

全体のバランスとアウトラインの美しさを重視します。

ボディ、頭部、四肢などの毛量配分がバランス調整されており、毛の厚みや量感が左右均等で、バランスが取れているか確認します。

左右非対称の場合は減点対象となります。犬種スタンダードを理解が必要です。

コーミング時に毛が出てこない、形の中に毛がしっかり収まっているかも評価対象となります。

03 モデル犬への配慮と扱い

カット中のモデル犬とのコミュニケーションが評価されます。

無理な体勢を強いていないか、クリッパー負けしていないかなどを確認します。

グルーマーの立ち位置や犬との距離感も評価対象となります。

02 細部の仕上げと道具の使用技術

足回りを含む細部の処理が丁寧に施されているかを確認します。

犬種に応じた適切な道具の選定と使用方法が評価されます。

道具の扱いが適切であるか、カットラインが整っているかチェックします。

尻尾など、カットしていない箇所がある場合は減点対象となります。

04 競技の進行とルール

四肢クリッピングやマズルクリッピングは競技時間内に実施すること。

トップノットは仮止め状態でスタート可能、ただし競技中にセットし直しが必須です。

※他の部位を巻いてのスタートも可能ですが同様に再セットが必要です。

事前のカラーリングOK,ただし犬に負担となる薬剤の使用はNGです。

体全体の3/1以上のカラーリングを禁止します。

トリミングテーブル持ち込み可能です。(回転テーブル含む)

テーブルの高さ調整を目的とした市販のアジャスター(継ぎ脚・台等)の使用は可とします。

ただし、安全かつ安定した設置を行うこと。椅子の持ち込みは可(キャスター付き含む)

クイック部門 ルール



クイック部門



01 目的・コンセプト

「限られた時間内で、実践的かつ効率的にカットを仕上げる」技術と判断力を競う部門です。仕上がりの美しさはもとより、現場で活かせるスピード感と犬への扱いの両立が重視されます。



02 審査基準

- ・制限時間内に仕上げること。
- ・「速さ」だけでなく、犬への負担軽減に配慮・声かけ・優しさも評価対象。
- ・時間短縮のための工夫(道具選び・順序・効率的な動きなど)は高く評価。
- ・犬の扱い・仕上げまでのスピード・バランス感が整っているか。
- ・クリッパーを使った仕上げ、ラインが整っているか・無駄なクリッパーマーク。
- ・犬の扱い・仕上げまでのスピード・バランス感が整っているか。

審査ルール

rule

01 上記内容を2名以上の審査員が総合的に判断します。

02 途中休憩はありません。

03 仕上げのためのチョーク、パウダー、スプレー使用は可。(※ただしジャッジが審査中コームで通る事が必要)

04 カラーリングは3/1以上の範囲は禁止。

05 日常のサロンで実施しづらい表現はNG。



サロンスタイル 部門ルール



サロンスタイル部門



01 目的・コンセプト

実際のサロン現場で求められる「可愛らしさ・美しさ・バランス感覚」に加え、デザイン性やオリジナル性を追求する部門。スタイル提案力・仕上がりが求められます。



02 審査基準

- ・モデル犬の魅力を最大限に引き出したデザイン。
- ・犬種やテーマに合った提案。
- ・時間短縮のための工夫(道具選び・順序・効率的な動きなど)は高く評価。
- ・犬の扱い・仕上げまでのスピード・バランス感が整っているか。
- ・クリッパーを使った仕上げ、ラインが整っているか・無駄なクリッパーマーク。
- ・サロンに来店する飼い主目線での“共感性”が感じられるか。
- ・ビフォー・アフターの変化。

競技ルール

rule

01 上記内容を2名以上の審査員が総合的に判断します。

02 競技開始60分後、10分間のブレイクタイム有り。

03 ブレイクタイムは犬を休憩させる、トイレを連れて行く、水を飲ませることは可、ただし競技者へのアドバイスは禁止。※発覚した場合、減点対象。

04 仕上げのためのチョーク、パウダー、スプレー使用は可。(※ただしジャッジが審査中コームで通る事が必要)

05 カラーリングは3/1以上の範囲は禁止。

06 日常のサロンで実施しづらい表現はNG。



ハッピーグルーミング 部門ルール



ハッピーグルーミング部門



01 目的・コンセプト

グルーマーの社会貢献として、保護犬に動物福祉に則ったトリミングを施すことを目的としたコンテストです。限られた状況の中で、犬への思いやりを形にする構想力と技術力が試されます。



02 審査基準

- ・犬の健康状態や心理状態を理解したうえで、適切な対応を実施しているか。
- ・犬の行動に対し、適切なリアクションができているか。
- ・道具の適切な選定と使用ができているか。
- ・作業の安全性が高く維持されているか。
- ・時間を有効に活用しているか。
- ・犬のストレスへの配慮、作業負担の軽減が実施されているか。
- ・犬の魅力およびQOLが高まるカットスタイルを施しているか。
- ・犬を機嫌よく、ハッピーな状態にしているか。

競技ルール

rule

01 2名以上の審査員が総合的に判断します。

02 シャンプー時間は10Kg以下で10分以内、10Kg以上で15分以内とする。

03 競技時間内でも作業を終了した時点で審査を受けることができる。

04 競技で担当する犬は、当日抽選で決定する。

05 複数頭担当する場合は1頭目を審査対象とする。

06 シャンプーの順番は競技内で決定する。

07 必要であれば競技中に審査員に質問することができる。

08 一時的に「競技アシスタント」から作業協力を得ることができる。

09 競技中に犬との休憩時間を設けることができる。

ポイント

point

本部門では、保護犬という“出会いの一期一会”を大切にしながら、どんな状況でも最善を尽くす姿勢が問われます。技術だけではなく、犬に寄り添う姿勢も大きな評価対象となります。シャンプー待ち時間をどう過ごすか、施術の順番をどう組み立てるかといった“柔軟な現場対応力”も、グルーマーの資質のひとつとして評価されます。

ダブルス部門 ルール



ダブルス部門



01 目的・コンセプト

サロン現場での実践的な“チームワーク”と協働によるグルーミング技術を評価する部門です。先輩後輩・店長副店長・他店とのコラボなど、立場や所属を越えた“チームとしての仕上げ力”が問われます。



02 審査基準

- ・2人の連携が取れているか。
- ・モデル犬の魅力を最大限に引き出したデザイン。
- ・犬種やテーマに合った提案。
- ・時間短縮のための工夫(道具選び・順序・効率的な動きなど)は高く評価。
- ・犬の扱い・仕上げまでのスピード・バランス感が整っているか。
- ・クリッパーを使った仕上げ、ラインが整っているか・無駄なクリッパーマーク。
- ・サロンに来店する飼い主目線での“共感性”が感じられるか。
- ・仕上げ後の外観に、チームとしての統一感や完成度が感じられるか。

ダブルス部門 競技ルール

rule

01 2名以上の審査員が総合的に判断します。

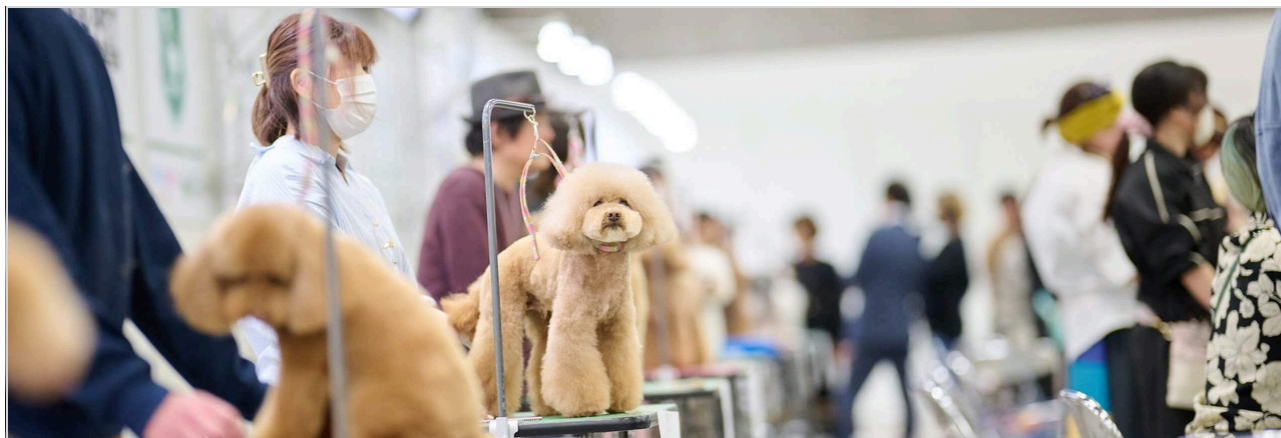
02 途中休憩はありません。

03 1チーム2名で、1頭のモデル犬を60分以内に仕上げてください。

04 使用道具・スタイルは自由です。

05 仕上げのためのチョーク、パウダー、スプレー使用は可。
(※ただしジャッジが審査中コームで通る事が必要)

06 カラーリングは3/1以上の範囲は禁止。



ウィッグ部門 ルール



ウィッグ部門



01 クラス編成

プードルクラス

ラムクリップ、ケネルクリップ、ジャーマンクリップ、セカンドパピー、コンチネンタルクリップ、イングリッシュサドルクリップ、パジャマダッチクリップ等。

アザーピュアブリードクラス

ビション、ベトリントン、シュナウザー

クリエイティブ&フリースタイルクラス

お好きなスタイル（カラーリング、デコレーションOK）。



02 目的・コンセプト

実犬に準じたトリミング技術・表現力・デザイン性を、ウィッグを用いて発揮する競技です。実際のサロンワークやデザイン提案力を表現する場として、カット技術・構成力・装飾力の総合力が問われます。



03 審査基準

- ・犬とわかる形にできているか。
- ・カットの正確性・美しさ・左右対称性・フォルムの完成度。
- ・仕上げまでのスピード・バランス感が整っているか。

ウィッグ部門 全クラス共通 競技ルール

rule

- 01 ウィッグであっても実犬同様の保定・扱い方をすること。
- 02 競技時間120分の中でカット・デコレーションを含めて仕上げてください。
- 03 ウィッグは全身タイプをご用意ください(指定はありません)。
- 04 マズルクリッピング済みタイプのはNGです。
- 05 ブラッシングは競技時間に含まれません。
- 06 事前のカラーリングは禁止です。
- 07 デコレーションやカラーリングは当日競技時間内のみOKです。
- 08 使用可能な道具:クリッパー、シザー、チョーク、パウダー、スプレー等。
- 09 ウィッグを倒す、持ち上げるなど実犬で行わないような扱いは禁止です。
- 10 カットの面をキレイにするためのクリッピング可。
- 11 ウィッグ本体および耳・尾のベース部分(毛ではなく本体)のカット、ならびに毛のカット等の事前加工は禁止とする。これらの加工は、競技時間内に限り認める。
- 12 競技開始時は、ウィッグ本体・耳・尾の形状を変更していない状態であること。

ウィッグ部門 クリエイティブ & フリースタイルクラス 追加ルール

rule

- 01** コードレス機器(ドライヤー・アイロン等)は、クリエイティブクラスに限り使用可能です。コード有りは不可。

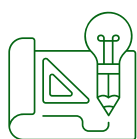
- 02** カットした毛を使用した装飾は可能です。

- 03** リボンやアクセサories等の装飾は可能ですが、犬と認識できる仕上がりであること。

ジャパンオープン スタイルルール



ジャパンオープンスタイル 部門



01 目的・コンセプト

世界中のトップグルーマーが技術と創造力を競い合う、アジア圏最大級の競技部門です。スタンダードなカットからペットスタイル、デザインカット、あらゆる技術・表現が評価対象となります。



02 審査基準

- ・犬種スタンダード、またスタイル提案に基づいた完成度の高い仕上がり。
- ・モデル犬の魅力を最大限に引き出したデザイン。
- ・犬種やテーマに合った提案。
- ・時間短縮のための工夫(道具選び・順序・効率的な動きなど)は高く評価。
- ・犬の扱い・仕上げまでのスピード・バランス感が整っているか。
- ・クリッパーを使った仕上げ、ラインが整っているか・無駄なクリッパーマーク。
- ・ビフォー・アフターの変化。

ジャパンオープンスタイル 部門 競技ルール

rule

01 2名以上の審査員が総合的に判断します。

02 競技開始60分後、10分間のブレイクタイム有り。

03 ブレイクタイムは犬を休憩させる、トイレを連れて行く、水を飲ませることは可、ただし競技者へのアドバイスは禁止。※発覚した場合、減点対象。

04 仕上げのためのチョーク、パウダー、スプレー使用は可。
(※ただしジャッジが審査中コームで通る事が必要)

05 カラーリングは3/1以上の範囲は禁止。

Japan Happy Grooming

一般社団法人ジャパンハッピーグルーミング協会